

◇ 令和2年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「志津南」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,956,992円	/	20,284,595円	コロナ対策補助金を活用し、充実した保育を行える備品やおもちゃを購入することが出来た。(差額については、おやつ代等に対応)	利用者・支援員双方が安全で満足できる運営を目指したい。
施設HPアドレス	https://minnanoiie.roukyou.gr.jp		2年目					
指定管理者名	労協センター事業団		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	令和2年4月1日
施設の供用開始日	平成21年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和2年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 指定管理が変わっての1年目。 以前の指定管理や支援員と比較される機会が多くなる。 児童、保護者両方に喜んでもらえる運営・管理を目指したい。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・保護者との連携、児童への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) コロナ禍において密に気を付けながら、消毒や換気作業を増やし行事の中止や縮小など子どもにとっては寂しい1年となったがコロナ対策補助金で少人数で遊べるおもちゃを増やした。 順番待ちをしながらもそれを楽しみに通ってくれる子どもも沢山おり楽しそうに保護者に報告している。 補助金のおかげで子どもたちにとって楽しい学童保育となっているのでいい方向に管理・運営が出来たのではと思う。		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は市内複数の児童育成クラブにおける指定管理者としての実績や、過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、令和2年度においても、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たした。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	コロナ禍の中で施設消毒のための人員を確保した。学校休業時には、交代での出勤とし、自宅待機時にはレポートを書く等保育の質を高めるため、自己研鑽の時期とした。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。また、事業所内で研修を実施し、保育の質の向上に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	通常の学校時間に戻ったが、保護者がリモートワークであったり時短勤務であったりと、退所者が出たが冬季、学年末には一時入会として戻ってきてくれた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。市の研修にも参加され、受講後回覧形式で内容共有されていた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	コロナ禍で行事はなかなかできなかったが、密に気を付けながらの誕生会は3か月合同で行った。	上半期評価	4、5月はコロナの影響で実施出来なかったが、コロナが落ち着いた6月に3ヶ月分まとめて誕生日会を実施する等、児童が楽しめるイベントを実施された。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	行事を工作などの個人で楽しむことを中心に行った。個人情報は鍵のかかる机にしまうことを徹底している。	下半期評価	時季に合ったイベントを実施された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
☆☆☆		☆☆☆		

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	5月はできなかったが、毎月おたよりで行事の予定子どもの様子をお伝えするようにしている。	上半期評価	一部送迎時に児童の様子を聞いていないとの声もあるものの、概ね保護者との情報交換は行われていた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	アンケートを実施し、保護者から上がった意見を支援員間で共有し保育の質を高めるように活用した。	下半期評価	日々保護者からの問合せに対応し、その内容をミーティングの場で支援員間での情報共有を実施された。
☆☆☆		☆☆☆		

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月、設備点検をするようにしている。また、気が付いた箇所は即時に対応するようにしている。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアル作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。毎月の設備点検や日々清掃活動もされている。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	上期に引き続き、毎月設備点検をしており気が付いた箇所は即時対応するように心掛けている。消防設備点検も行った。	下半期評価	日々施設を点検いただいている。気づいた箇所は、即時に清掃・修繕いただいた。見落としがちな屋根の上の点検についてももれなく実施できている。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		